

# 平成15年度 事業報告書

財団法人日本ハンドボール協会

## 1. 普及指導に関する事業

### 1) 普及関係

#### 普及特別委員会

i) 第1回普及特別委員会 平成15年5月13日 岸記念504会議室

- ・U-15大会について  
普及という観点から、中学生の地域クラブ育成を進める。
- ・企業プロジェクトについて  
企業チームの持っている人的、物的活力を、地域におけるハンドボール普及の推進力にする。
- ・J級公認指導者養成について
- ・小学生大会アンケートについて  
実態を把握し、運営マニュアルとして提供する。
- ・NTSの実施について
- ・その他  
市町での普及のための組織づくり。  
指導者の発掘。  
登録の必要性、意義の理解を進める。  
功労者の表彰基準の明確化。

)小委員会 平成16年3月23日 ブラザー工業体育館  
全国小学生チームアンケートの結果、小学生大会の運営、チームの創設についての具体的な施策を進めるワーキンググループの開催

- ・少年ハンドボール大会運営検討会議の設置  
少年用のルール、レフェリング、登録
- ・ブロック少年チーム創設・整備会議の設置  
各地域の実態把握と少年チーム創設の具体策の検討

#### 小学生委員会

第1回小学生委員会 平成15年8月1日 京田辺市

- ・小学生大会等の調査結果 登録数137チーム
- ・各県における小学生担当者の配置について
- ・チーム創設について
- ・第16回全国小学生ハンドボール大会実施 男子25 女子22

#### 中学生委員会

i) 第1回中学生委員会 平成15年8月17日 函館市

- ・各ブロック報告 チームの減少傾向
- ・U-15大会の説明、開催協力依頼
- ・登録、10万人会について

) 第2回中学生委員会 平成15年12月24日 家原体育館

- ・各地の現状報告
- ・JOC大会の将来展望  
NTSとの連携：出場選手選考、有望選手の発掘
- ・会期延長について 16チームの参加と1日延長

#### 小学生指導要領対策

i) 第1回学校体育ハンドボール検討委員会 平成15年4月25日 事務局

- ・第6回研究集会実施案検討

- ・文部科学省への依頼について
  - ・研究委託校選定について
- 19校
- )第6回ハンドボール研究集会(120名) 平成15年7月30,31日 秋田市
- ・授業発表
  - ・実技研修と講義
- )第2回学校体育ハンドボール検討委員会 平成15年9月23日 神戸市
- ・研究委託校の研究の進め方について
  - ・ハンドボール研究第5集編集について
- )第3回学校体育ハンドボール検討委員会 平成16年3月21日 駒沢体育館
- ・研究集録の編集について
  - ・平成16年度第7回研究集会について
  - ・実践研究推進校の募集について

#### ビーチハンドボール委員会

- 第5回全日本ビーチハンドボール大会 平成15年8月2,3日 千葉県
- ・審判講習会、指導者研修会 男子9 女子6

#### マスターズ委員会

- 第10回全国ハンドボールマスターズ大会 平成15年7月26,27日 宮崎県
- 男子22 女子13

#### 女性委員会の発足

- ・ハンドボール界においてもジェンダーフリーの視点から女性の参画を進める

## 2) 指導関係

### 指導委員会

- i)第1回中央指導委員会 平成15年7月15日 代々木第2体育館
- ・公認コーチ養成講習会専門教科の見直し
  - ・U-12のトレーニング内容の検討
  - ・有資格者の研修義務化
  - ・J級、C級スポーツ指導員講習会の開催促進
  - ・各県での組織づくり
- )第2回中央指導委員会 平成15年9月7日 日本女子体育大学
- ・アテネ予選に伴う講習会開催について
  - ・各県における講習会の実施状況について
  - ・U-12指導法検討委員会について
- )コーチ講習会 平成15年9月24,28日 神戸市
- 講師 ハッサン・ムスターファ IHF 会長、ミューレマター IHF 競技委員長、  
シュタインバッハ 審判委員長、田中茂 JHL-GM  
世界のハンドボールの動向、エジプト、スペインの一貫指導について  
参加者 67名

### 技術委員会

競技者育成技術委員会の中で、日本のハンドボール技術を統合的に捉え、体系づけるためのワーキンググループを立ち上げ、検討を進めている。

## 2. 競技運営に関する事業

### 1) 主催大会の管理・運営 (斜体は国際大会)

月	大会名	開催日程	開催地	結果
7月	第23回全国クラブ選手権・西地区	7/11-13	福岡県大牟田市民体育館他	男子:1;下松ク 2;PF 須磨東ク 3;SOCIO OSAKA 女子:1;スビックス 2;クラブ下松 3;FCC
	アテライトピックアジア予選壮行試合	7/17, 7/19,20	横浜市、名古屋、福井市	日本2勝1敗、エジプト1勝2敗
	第9回ビクトリア国際大会	中止		理由:SARS(サーズ)のため
	第11回全日本マスターズ大会	7/25-27	宮崎県体育館他	男子:1;オールドフェイス 2;WAKUNAGA3;海自桜錨会 徳山 女子:1;ミス 2;風見鶏ファミリー 3;スックス、FCC
	第23回全国クラブ選手権・東地区	7/25-27	福島県本宮町総合体育館他	男子:1;紫嵐会 2;沼南ク 3;不来方ク、RAZE 女子:1;氷見ク 2;SAKURAク 3;福島ク、萩江ク
	高松宮記念杯第54回全日本高校選手権大会	7/29-8/3	長崎県佐世保市体育文化館他	男子:1;興南 2;小林工業 3;伊奈、浦和学院 女子:1;夙川学院 2;小松市立 3;熊本国府、暁
	高松宮記念杯第44回全日本実業団選手権大会	7/31-8/3	新潟県柏崎市総合体育館他	男子:1;大同特殊鋼 2;ホグ 3;湧永製菓 女子:1;広島メイプルズ 2;シャトレセ 3;私団
8月	第16回全国小学生大会	8/1-3	京都府京田辺市中央体育館他	男子:1;神森小 2;玉名町小 3;松井ヶ丘小 女子:1;日岡 HS 少年団 2;松井ヶ丘小 3;当尾小
	第5回全日本ビートルボール選手権大会	8/2,3	千葉県富浦町原岡海岸	男子:1;BeachBys2;微少年 100%3;KAGURA 女子:1;藤乃 2;あぶらおおめ 3;LEGO・ガールズ
	第14回世界女子Jr選手権大会	8/4-17	マケドニア	1;ロシア 2;ルガリ 3;ルカ 4;ロシア 日本17位
	第30回全国高等専門学校選手権大会	8/9,10	熊本県立総合体育館	1;豊田高専 2;八代高専 3;大阪府立高専、呉高専
	東日本男子学生選手権大会	8/10-15	福井県北電福井体育館他	1;国士舘大 2;筑波大 3;日本大、早稲田大
	第8回ジャパンオープンネット	男 8/11-14 女 8/12-14	埼玉県八潮市鶴ヶ首根体育館他	男子:1;香川ク 2;HC 岡山 3;MAX、氷見ク 女子:1;MIEVioketIRIS2;HC 岡山 3;香川銀行、SHF
	フレック第11回東日本小学生大会	8/15-17	山形県東根市民体育館	男子:1;富岡イグリス 2;上庄少年団 3;湯沢市 HS 少年団 女子:1;仏生寺少年団 2;堀川少年団 3;リトル
	第7回日韓姉妹交流(受入/女子)	8/11-16	石川県北國銀行体育館	練習試合2戦(2敗) 親善試合1戦(1敗)
	東日本女子学生選手権大会	8/15-20	東京都駒沢屋内球技場他	1;筑波大 2;東京女子体育大 3;国士舘大、日本体育大
	西日本学生選手権大会	8/15-20	名古屋市緑区緑センター他	男子:1;大阪体育大 2;大同工業大 3;大阪経済大、福岡大 女子:1;武庫川大 2;大阪教育大 3;福岡大、福岡教育大
	第32回全国中学校大会	8/17-20	北海道函館市民体育館他	男子:1;神森中 2;中西中 3;汐路中、御幸山中 女子:1;上野芝中 2;香流中 3;氷見南部中、大住中

	第 11 回日中韓ジュニア交流 流競技大会	8/23-29	韓国・済州島	
	第 7 回日韓ジュニア交流 (派遣/女子)	8/25-30	韓国・ソウル	練習試合 2 戦(2 敗) 親善試合 1 戦(1 敗)
9 月	2004 年アテネオリンピック 予選神戸大会	9/23-28	兵庫県神戸市 グリーンアリーナ神戸	男子:1;韓国 2;日本 3;中国 4;タイ 女子:1;中国 2;韓国 3;加 4;日本
10 月	第 28 回日本リーグ	10/11-04/3/7	各地	
	第 58 回国民体育大会	10/26-30	静岡県静岡市中央体育館他	成年男子:1;三重 2;広島 3;埼玉 4;愛知 成年女子:1;広島 2;熊本 3;山梨 4;鹿児島 少年男子:1;茨城 2;福井 3;香川 4;京都 少年女子:1;愛知 2;東京 3;石川 4;熊本
11 月	高松宮記念杯男子第 46 回 女子第 39 回全日本学生選手権大会	11/4-9	青森県青い森アリーナ他	男子:1;日本体育大 2;国土館大 3;中部大、日本大 女子:1;筑波大 2;東京女子体育大 3;大阪教育大、武庫川女子大
12 月	第 16 回女子世界選手権大会	12/1-14	クロアチア	1;フランス 2;ロシア 3;韓国 4;ウクライナ 5;スウェーデン 日本は 16 位
	第 12 回 JOC ジュニアオリンピックカップ	12/26-28	大阪府堺市家原大池体育館他	男子:1;沖縄 2;愛知 3;群馬、大阪 女子:1;熊本 2;沖縄 3;東京、堺
2 月	第 11 回男子アジア選手権 兼男子世界選手権予選	2/10-25	カタール	1;ウクライナ 2;日本 3;カタール 4;ロシア 5;サウジアラビア 上位 3 チームが第 19 回世界選手権出場権獲得
2 月	全日本実業団チャレンジ 2004	2/20-22	三重県鈴鹿市アクティヴランド体育館他	1;ソウル 2;金沢市役所 3;自衛隊久里浜 4;豊田自動織機
3 月	第 28 回日本リーグプレーオフ	3/19-21	東京都駒沢体育館	男子:1;ホセ 2;大同特殊鋼 3;湧永製薬 女子:1;広島メイプルズ 2;私大 3;サントリー
	第 27 回全国高等選抜大会	3/26-31	神奈川県藤沢市県立体育センター	男子:1;興南高 2;香川中央高 3;愛知高、不来方高 女子:1;小松市立高 2;浦添高 3;昭和学院高、桜花学園

## 2) その他の事業

- ・ 平成 15 年度チーム・選手・チーム役員登録業務
- ・ 競技運営会議の開催（東京）
- ・ マッチバイザーの任務に関するガイドライン平成 15 年度版発行
- ・ 国民体育大会運営の簡素化・効率化への取り組み
- ・ 国民体育大会正規視察（埼玉県、新潟県）
- ・ 競技用具（ボール・ゴール・ゴールネット）検定の実施
- ・ 大会開催マニュアル平成 15・16 年度版の発行

### 3. 国際に関する事業

- 1) 2004年アテネオリンピックアジア予選(神戸 9月)関連
  - ・ AHFテクニカルデレゲート・審判の受け入れに関する連絡
  - ・ 参加国の受け入れに関する連絡
  - ・ EAHF会議(神戸)の開催準備と参加者受け入れに関する連絡  
日本側参加者: 山下 泉、市原 則之、大西 武三
  - ・ IHF理事会の神戸開催の準備及び受け入れに関する連絡  
日本側参加者: 渡邊 佳英
  
- 2) 日本ナショナルチーム国際大会関連
  - ・ ジャパンカップ'03(7/17~20) 男子エジプト受け入れの連絡
  - ・ 第14回女子ジュニア世界選手権(マケドニア 7/27~8/19)の連絡
  - ・ 男子ナショナルチームユニビア・エジプト遠征(7/30~8/20)の連絡
  - ・ 第7回女子日韓スポーツ交流(石川 8/10~8/16)受け入れに関する連絡
  - ・ 第7回女子日韓スポーツ交流(韓国・釜山 8/24~8/30)派遣に関する連絡
  - ・ 男子U-16日韓親善交流(韓国・釜山 8/24~30)派遣に関する連絡
  - ・ 第16回女子世界選手権(クロアチア 11/30~12/9)派遣に関する連絡
  - ・ 第11回アジア男子選手権(カタール 2/10~22)派遣に関する連絡
  
- 3) 国際会議関連
  - IHF
    - ・ IHF理事会(スウェーデン 7/4,5) 渡邊 佳英
    - ・ IHF理事会(神戸 9/26,27) 渡邊 佳英
    - ・ IHF総会(スイス・11/27,28) 日本(渡邊 佳英・市原 則之・栗山 雅倫)
  - AHF
    - ・ AHF常任理事会(カタール 2/19) 日本(渡邊 佳英)
  - EAHF
    - ・ 会議(中国・北京 4/6) 関連  
参加国: 中国・韓国・日本(山下 泉、市原 則之)  
議題: 組織・役員・内規の修正など
    - ・ 会議(神戸 9/25) 関連  
参加国: 中国・韓国・日本(山下 泉、市原 則之、大西 武三)  
議題: コーチセミナー、実業団又はナショナルチーム交流など
    - ・ 会議(中国・広東省 10/18) 関連  
参加国: 中国・韓国・日本(山下 泉、市原 則之)  
議題: クラブ選手権大会、加盟国の推進、スケジュール調整など

#### 4. 競技規則（審判）に関する事業

1) 平成15年度登録公認審判員数 2,417名

国際10名、A級289名、B級515名、C級628名、D級975名

2) 公認審判員上級審査結果

A級審査は、全日本実業団選手権大会(柏崎市)をモデルに、B級は北地区(花巻市)・東地区(草加市)・中地区(大津市)・西地区(沖縄市)の4地区にて実施。結果は下記の通り。

	A 級	B 級
審査申請者	35名	35名
書類不備者	0名	3名
欠席者	9名	5名
筆記不合格者	3名	0名
実技不合格者	6名	5名
体力不合格者	0名	
合格者数	17名	22名

レフェリーコース受験状況

前期 期日 8月18日(月)～21日(土)

モデル 長浜ドリーム大会 高校チーム男女45チーム

場所 滋賀県 長浜市

担当者 川島克之、三枝慶彦、越田義昭、島田房二

後期 期日 3月26日(金)～28日(日)

モデル 関東学生男子1部チーム強化試合

場所 日本体育大学

担当者 川島克之、越田義昭、島田房二

結果は下記の通り。

申請者数	8名
欠席者数	0名
B級認定者	5名
C級認定者	3名

実業団レフェリーコース受験状況

期日 2月20日(金) 鈴鹿市にて実施

モデル 実業団チャレンジカップ

結果は下記の通り。

申請者数	2名
欠席者数	0名
B級認定者	0名
C級認定者	2名

3) 講習会・研修会及び審判員評価

講習会

対象者 日本リーグ担当レフェリー・一般希望者

内容 教本に基づいた講義

体力テスト(クーパー走)・VTRテスト

・北海道地区日本リーグ講習会	2月15日(日)	札幌市
・東北地区	3月7日(日)	盛岡市
・関東地区	2月22日(日)	世田谷区
・北信越地区	2月7日(土)	柏崎市
・東海地区	3月14日(日)	名古屋市
・近畿地区	3月28日(日)	神戸市
・中国地区		
・四国地区	3月29日(月)	松山市
・九州地区	3月6日(土)	佐世保市

#### トップレフェリー研修会

期 日	9月27日(土)・28日(日)	
会 場	神戸市 グリーンアリーナ・西神オリエンタルホテル	
対 象	平成15年度全国大会担当レフェリー・日本リーグ担当レフェリー	
参加者	指導部会委員を含め160名参加	
モデル	アテネオリンピックアジア予選大会	
内 容	座学 ・ゲーム運営に関する講演(スウェーデンレフェリー) ・ルールに関するIHF見解(PRCスタインバッハ委員長)	
	実技 国際大会レフェリーチェック	
	視聴覚研究 国際大会VTR映像を基に	

#### 審判員評価

- ・全国高等学校総合選手権大会参加審判員評価(佐世保市)指導委員2名派遣
- ・全日本総合選手権大会審判員評価(広島市)指導委員5名派遣

#### 4) 会 議

##### ・審判審査指導委員会

期 日	9月27日(土)
場 所	神戸市
内 容	A・B級受験状況及び審査結果の検討 レフェリーコース前期の受験状況報告 総合選手権大会審判員のノミネート トップレフェリー研修会について

期 日	1月28日(水)
場 所	国立スポーツ科学センター A級審査保留者の検収結果の検討及びA級最終審査 平成16年度A・B級受験申請者書類審査 審判部合同会議準備

##### ・審判部合同会議

期 日	1月29日(木)・30日(金)
場 所	国立スポーツ科学センター
参加者	審判部長・競技部長・審査指導委員・各ブロック審判部長・各連盟審判部長・ 競技規則研究委員長・国際委員長・日本リーグ審判部長・総務委員長及び総



務委員

内 容 平成15年度諸活動の総括  
平成16年度活動の検討  
競技運営上の問題検討

5) 審判員の海外派遣実績

- |               |               |
|---------------|---------------|
| ・ I H F 登録審判員 | ・ A H F 登録審判員 |
| 浜田浩和・小笠原久郎    | 藤井俊朗・大熨嘉彦     |
| 仲田 稔・植村 彰     | 候 補           |
| 家永昌樹・福島亮一     | 永春文義・安田 寛     |

・ 女子世界選手権

期 日 10月10日(金)～19日(日)

場 所 クロアチア

派遣審判 浜田浩和・小笠原久郎 I H F 指名

・ 第6回アジア男子クラブ選手権

期 日 12月17日(水)～28日(木)

場 所 ベイルート(レバノン)

派遣審判 仲田 稔・植村 彰 A H F 指名

・ 第11回アジア男子選手権兼2005WCアジア予選

期 日 2月10日(火)～22日(日)

場 所 ドーハ(カタール)

派遣審判 仲田 稔・植村 彰 A H F 指名

6) その他

- ・ 全日本大会担当審判員編成の反省と改善  
各都道府県からのNo.1推薦者が自動的に全国大会にノミネートされることに対する甘えの指導。
- ・ 競技規則必携の販売  
販売を開始したが、公認審判員全員が携帯する状態になっていない。購入の徹底を図る。
- ・ レフェリーのオフィシャルユニホームの購入を促進する。
- ・ 審判審査指導委員に出来る限り全国の審判状態を観察する機会を持たせるため、全国大会へマッチバイザーとして編成できないか検討中である。経済的な負担をどこが持つかが問題点。

## 5. 競技力向上（強化）に関する事業

### 1) 国際大会・国際交流親善試合

チーム名	大会名	日程	場所	結果
男子 N	ジャパンカップ'03	7/17-20	横浜・名古屋・福井	男子エジプト招聘、日本 2 勝 1 敗
女子 U19	第 14 回女子 Jr 世界選手権	7/27-8/19	マケドニア	参加 20 ヶ国日本 17 位 ロシア ハンガリー ノルウェー
女子 U16	第 7 回女子日韓 (受入) スポーツ交流 (派遣)	8/10-16 8/24-30	石川県 韓国・ソウル	強化合同合宿・親善試合 同上
男子 U16	日韓親善ハンドボール交流	8/24-30	韓国・釜山	強化合同合宿・親善試合
男・女 N	アテネ五輪アジア予選	9/23-28	兵庫県・神戸市	男子 韓国 日本 中国 チャイニーズタイペイ 女子 中国 韓国 カザフスタン 日本
女子 N	第 16 回女子世界選手権	11/30-12/9	クロアチア	参加 24 ヶ国 日本 16 位 フランス ハンガリー 韓国
男子 N	第 11 回アジア男子選手権	2/10-22	カタール	参加 9 ヶ国 日本 2 位 クウェート 日本 カタール バーレーン サウジアラビア UAE イラン ヨルダン オマーン

### 2) 海外強化合宿

男子 N	欧州遠征	7/30-8/20	チュニジア・エジプト	強化合同合宿・親善試合
女子 N	欧州遠征	8/24-9/14	デンマーク・ルーマニア	強化合同合宿・親善試合

### 3) 強化合宿（男女ナショナル）

チーム名	日程	場所・その他
男子ナショナル	5/16-18	山梨県・御殿場
	6/2-13	三重県・本田技研
	6/17-28	同上
	7/3-15	同上（ジャパンカップ事前合宿）
	9/10-18	同上（アテネ五輪予選事前合宿）
	1/22-28	埼玉県・大崎電気
	2/5-10	愛知県・大同特殊鋼（アジア選手権事前合宿）
女子ナショナル	4/14-19	愛知県・プラザー工業
	4/26-30	熊本県・オムロン
	5/1-5	大分県・大分市
	5/6-31	熊本県・オムロン
	6/1-15	熊本県・オムロン
	6/16-19	沖縄県・浦添市
	6/20-31	熊本県・オムロン
	7/7-20	石川県・北國銀行
9/18-21	兵庫県・神戸市（アテネ五輪予選事前合宿）	

#### 4) 強化合宿 (男女ジュニア)

チーム名	日程	場所・その他
男子U - 23	5/24-25	埼玉県・大崎電気
	12/5-7	同上
女子U - 23	6/7-10	愛知県・ブラザー工業
男子U - 19	5/20-23	埼玉県・大崎電気
	11/20-24	同上
女子U - 19	5/20-24	愛知県・ブラザー工業
	7/4-6	茨城県・筑波大学
	7/24-26	埼玉県・大崎電気 (女子 Jr 世界選手権直前合宿)
女子U - 16	4/26-29	愛知県・ブラザー工業

#### 5) ドクター・トレーナー帯同 (遠征・大会)

遠征・大会名	日程	場所	ドクター	トレーナー	チーム
ジャパンカップ'03	7/17-21	横浜・名古屋・福井	加藤 公	赤尾和彦 高野内俊也	男子 N
第14回女子Jr世界選手権	7/27-8/19	マケドニア		飯田純一郎	女子 U19
男子欧州遠征強化合宿	7/30-8/20	チュニジア・エジプト	福田亜紀	赤尾和彦 田村耕一郎	男子 N
第7回女子日韓 (受入) スポーツ交流 (派遣)	8/10-16 8/24-30	石川県 韓国・ソウル	大里佳之	猪元祐里 松田亮子	女子 U16
日韓親善ハンドボール交流	8/24-30	韓国・釜山		木村淳一	男子 U16
アテネ五輪アジア予選	9/23-29	兵庫県・神戸市	加藤 公	赤尾和彦	男子 N
			坂口 満	皆川直哉	女子 N
女子欧州遠征強化合宿	8/24-9/14	デンマーク・ルウエー	坂口 満	皆川直哉 大川智恵	女子 N
第16回女子世界選手権	11/30-12/9	クロアチア		皆川直哉	女子 N
第11回アジア男子選手権	2/11-22	カタール	有田 忍	赤尾和彦	男子 N

#### 6) NTS (ナショナルトレーニングシステム)

- ・ブロックトレーニング (9ブロック) の実施  
小・中・高それぞれ男女15名 + 約1,000名
- ・センタートレーニングの実施  
中・高男女各50名 U16、U19代表選手の選考を同時に行った。

#### 7) ジュニアオリンピックカップ大会

男子優勝：沖縄選抜 女子優勝：熊本選抜

- ・オリンピック有望選手の選考  
男子 砂川 慶成 (沖縄・浦添市立神森中学校)  
女子 林 志帆 (愛知・名古屋市立川名中学校)  
" 山上 麻美 (山口・周南市立住吉中学校)

8) アテネプラン

アテネオリンピックアジア予選の実施(神戸市 9月)

男子 2位(韓国・日本・中国・チャイニーズタイペイ)

女子 4位(中国・韓国・カザフスタン・日本)

アジア代表オリンピック出場国 男子:韓国 女子:中国

9) 女子代表世界選手権出場

カザフスタンの代替として第16回世界選手権(クロアチア)出場

24チーム中16位

10) 男子代表世界選手権出場権獲得(チュニジア)

第12回アジア選手権(カタール)においてクウエートに次いで2位となり、4大会ぶりに世界選手権の出場権を獲得した。

11) 分析活動

オリンピックアジア予選において情報の収集・データ分析を行い代表チームの戦略提供  
参加各国の戦術の分析を行い今後の代表及び日本のハンドボール界に参考となるDVDを作成した。

## 6. 機関誌発行に関する事業

1) 機関誌の内容充実と情報公開に努力した。

協会基本方針の伝達

協会便り(理事会、委員会報告)

各連盟便り

N T S 情報

I H F ニュース

スコアルーム

企画記事(福井日銀総裁と塩川財務大臣の対談を実現した)

がんばれ10万人会情報

技術分析

大会報告

2) 年10回毎月1日の発行が出来た。

1ヶ月発行部数 3,600部

(年3回登録中学校へ無料配布 約1,000部)

(年1回登録小学校へ無料配布 約150部)

3) 広告協賛 15社

## 7. 企画・広報に関する事業

### 1) 企画

アテネオリンピックアジア予選開催に関してスケジュール・予算・運営・対外渉外・調整等を行い一定の成果を得た。

マーケティング本部を新設し、活動の推進を行った。

「プロジェクト21」の具体案の検討を行い、平成16年度からの実施にむけて準備を行った。

予算編成に伴い各本部の連携を検討し、事業予算の縮減を図った。

ハンドボールフォーラム、講演会を実施した。

### 2) 広報

アテネオリンピックアジア予選に伴い、記者発表、テレビ中継、マスコミ懇談会（プレスリリース、HP発信、ナショナルチームのPR等）を行い、成果を得た。

プレスリリース、記者発表をタイムリーに行った。

HP発信の内容の充実を図り、ヒット数が増加した。

テレビ・ラジオ番組出演の機会を増加させた。

東京記者クラブとの打合せ連絡会を増し、意見交換を密に行った。

協会内広報担当、日本リーグ広報担当を明確化した。

### 3) インターネット

日本協会ホームページの充実を図った。

・内容の充実結果速報のスピード化を図った。

・能動的発信内容への努力をした。

情報発信のスピード化のために一部を外注化した。

## **8. 財務・会計に関する事業**

- 1) 平成15年度の財政収支状況は、ここ数年の傾向どうり経済不況、企業スポーツの撤退などにより、従来の大口の協賛金の収入は見込めず、協会運営の予算執行にあたっては相当に厳しい状態であった。この状況のなか、平成12年度からスタートしたアテネオリンピック強化特別プロジェクトの、3年間に亘る諸活動の総決算ともいえるアジア予選大会の財政運営については、関係各位の多大なる支援を頂き、成功裡に運営することが出来た。
- 2) 一般会計の収入とし当初の予算に対し、大口の特別協賛金の収入が未達になったもののJOCからの補助金の増額と検定料のプラスならびに日本リーグからの特別積み立て等の繰り入れがあり決算としては増額となった。
- 3) 一般会計の支出についてはEAHFの開発基金等の国際関係事業での増額があったが総じて予算内の執行状況であった。
- 4) 特別会計については今年度最大のビッグイベントであったオリンピックアジア予選大会が開催されたが、行政、各協賛会社の支援ならびに日本リーグ加盟チームおよび地方協会の協力を頂いて何とか財政運営をする事が出来た。
- 5) 会計処理の厳正化については会計士・税理士・会計担当者の連携を密にして毎月の収支を的確に捉え、チェック体制の強化を図った。

## **9. 日本リーグに関する事業**

- 1) 日本リーグ中期ビジョンの検討に着手した。
- 2) 観客動員対策に取り組み、プレーオフを含み大幅な実質の観客動員が図れた。
- 3) チーム広報担当の設置を進めた。
- 4) 第3地域での試合、集中開催を進めた。
- 5) スポーツ振興センターより「トップリーグ支援助成金」を受けることが出来た。

GM担当を設置した。	チャレンジリーグを開催した。
オールスター戦を復活した。	東アジアクラブ選手権に参加した。
プレーオフの充実を行った。	ハンドボールフォーラムを開催した。
- 6) 日本リーグのシステム改革を検討した。

オーナー会議の部長会・監督会議の中身の充実を図った。
リーグ委員の質の向上に努めた。
- 7) NTSへの協力支援を行った。
- 8) 活性化委員会を設置(小学生・中学生チームの拡大、指導・普及を行った)。
- 9) 記者クラブ打合連絡会、記者発表を行った。

## 10. 総務に関する事業

- 1) 定例の諸会議の開催について、開催場所の選択や人員・規模等を勘案し会議費や日程の効率的運営の推進を図った。

評議員会	6月(東京)	2月(東京)		
理事会	6月(東京)	11月(東京)	2月(東京)	
常務理事会	4月(東京)	5月(東京)	6月(東京)	7月(東京)
	9月(東京)	10月(静岡)	11月(東京)	12月(広島)
	1月(東京)	2月(東京)	3月(東京)	

全国理事長会議 10月25日、静岡県国体期間中に並行して開催。ハンドボール人口の底辺拡大には小学生へのハンドボール普及が重要な課題であり、今後の各都道府県での普及方法の一助として、先進県である沖縄県、熊本県より事例報告を詳細に受けた。

事務取扱責任者会議 2月(東京)

- 2) 事務局内の強化体制の積極的推進及び事務局経費の継続的削減  
・事務局業務の効率化を進めるため、一部PCの更新を行った。  
・電話1回3分以内、残業10時間以内、裏紙使用などを行った。

## 11. 「がんばれハンドボール10万人会」サポート会に関する事業

- 1) 平成15年度サポート会員総数(平成16年3月31日現在)

特別会員	10名
グランド会員	258名
ファミリー会員	234名
ジュニア会員	17名
都道府県ファミリー会員	284名
都道府県グループ会員	564名
総数	1,367名

- 2) 推進活動

- (1) 都道府県ファミリー会員・グループ会員入会の促進  
(2) 大会会場における会員の優先席設定

- 3) 事務局

- (1) 毎月の入会・更新作業  
(2) 打合会の開催・事務処理